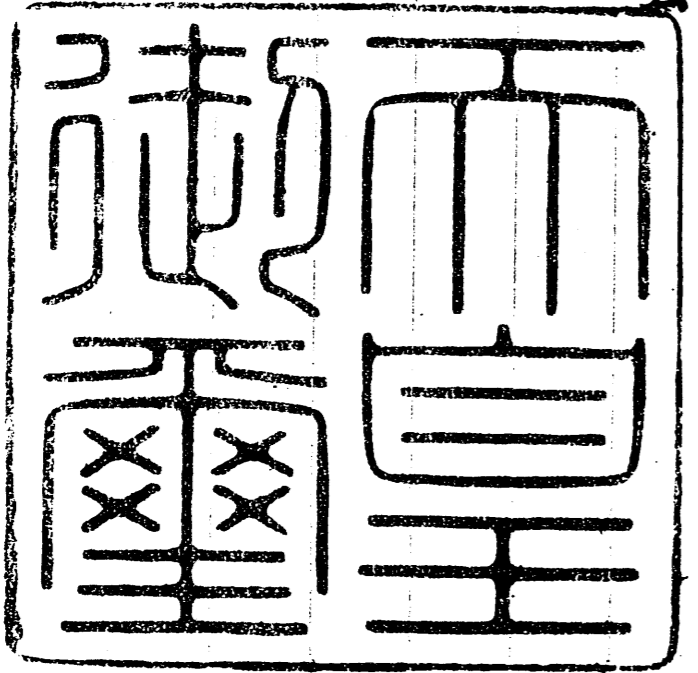


勅令第二百九十九號

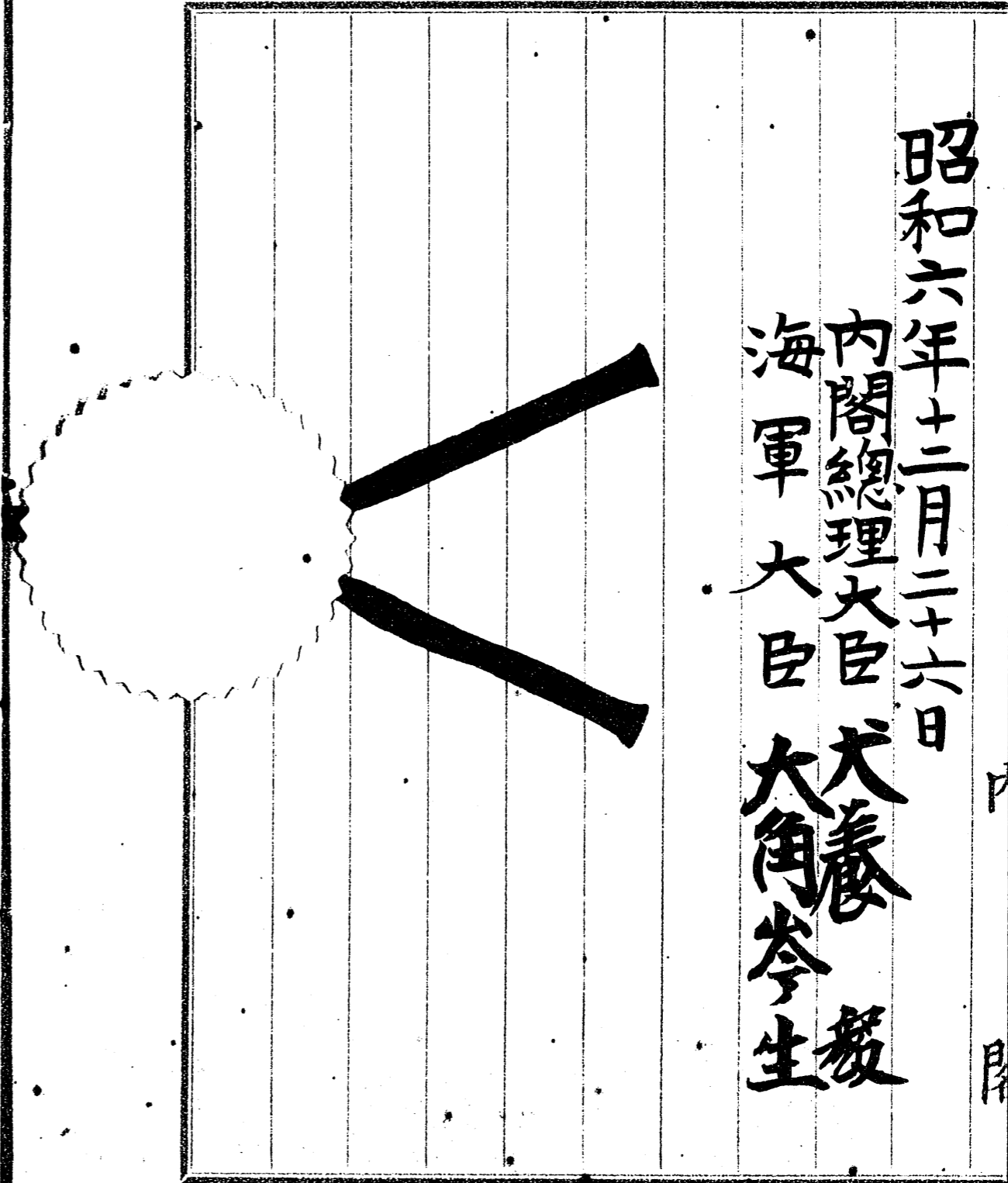
朕滿洲事變ニ關シ滿洲(關東州ヲ除ク)、河北省
及渤海沿岸(山東省沿岸、關東州沿岸ヲ除ク)ニ勤
務スル海軍軍人軍屬ノ給與ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之
ヲ公布セシム

裕仁



昭和六年十二月二十六日

内閣總理大臣 犬養毅
海軍大臣 大角岑生



勅令第二百九十九號

海軍軍人軍屬ニシテ今回ノ滿洲事變ニ關シ滿洲（關東州ヲ除ク）、河北省及渤海沿岸（山東省沿岸、關東州沿岸ヲ除ク）ニ派遣セラルルモノ又ハ同地域ニ在ル者ニ對シ海軍戰時給與規則ヲ適用スル場合ニ於テハ左ノ各號ノ場合ニ限り同規則及大正七年勅令第三百九十五號ニ依ラズ本令ノ定ムル所ニ依ル

一 海軍戰時給與規則第二條第一項ニ規定スル者ニハ左ノ區別ニ依リ増俸ヲ給ス

(イ) 准士官以上、候補生及文官ニハ俸給十分ノ三但シ准士官以上及候補生ニシテ増俸月額二十四ニ滿チザルモノニハ月額三十四トス

(ロ) 下士官兵及雇員傭人ニハ俸給又ハ給料十分ノ四
昭和二年勅令第三十二號ハ前項ノ規定ニ依リ増俸ヲ受クル者ニ
ハ之ヲ適用セズ

二 海軍給與令第五表第二號ノ規定ハ之ヲ適用セズ但シ艦船ノ乗
員又ハ之ニ乗組ヲ命ゼラレタル者ニシテ現ニ其ノ適用ヲ受クル
モノニ付テハ該艦船ガ引續キ其ノ地域ニ於テ當該役務ニ在ル間
ニ限り仍従前ノ例ニ依ル新ニ該艦船ノ乗員ト爲リ又ハ之ニ乗組
ヲ命ゼラレタル者ニ付亦同ジ

三 昭和六年十一月二十五日以前一年以内ニ旅費トシテ支度料ノ
支給ヲ受ケタル者ニハ海軍戦時給與規則第九條ノ規定ニ依ル手
當金ハ之ヲ支給セズ但シ其ノ受ケタル金額ガ手當金ヨリ少キト

キハ其ノ差額ヲ給スルコトヲ得

海軍戦時給與規則第九條ノ規定ニ依ル手當金ノ支給ヲ受クル者
ニハ平時旅費トシテ支給ヲ受クベキ支度料ハ之ヲ給セズ

四 海軍戦時給與規則第十五條ノ規定ニ依リ支給スル埋葬料ハ別
表ニ依ル但シ生徒、學生及艦營傭人ニ付テハ同條但書ノ規定ヲ
準用ス

附 則

本令ハ昭和六年十一月二十六日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別表)

區分		金額	
將官 高等官 二等以上	百五圓	准士官 判任官 一等及 取扱ヲ受クル者	五十五圓五十錢
佐官 高等官 五等以上	八十二圓五十錢	判任二、三、四 等及下士官ノ 身分取扱ヲ受クル者	四十五圓
尉官 高等官 六等以下 奏任官 待遇者	六十七圓五十錢	其ノ他ノ者	三十七圓五十錢
候補生 士官ノ 身分取扱 ヲ受クル者			